

入口ごとの使い分け

入口	できること	向いている仕事	注意
会話（Chat と Cowork を統合）	質問も、フォルダを渡す長い作業も同じ会話で頼む。道具は Claude が選ぶ	調べもの、資料の下書き、Design・Slides・Docs	9/16 から順次展開。切替タブが見えたら旧画面。統合後は戻せない
Code タブ	Claude Code の画面版。並列、worktree、差分、プレビュー、PR	書く、直す、PR を出して CI を通す	CLI と設定・CLAUDE.md・スキル・フックを共有。Agent Teams は不可
Quick entry（Mac）	どのアプリの上でも Option 2 回。範囲スクショ、ウィンドウ添付、音声入力	画面を見せて聞く	画面収録とアクセシビリティの許可が要る
Routines	ローカルは起動中かつ PC が起きている間、リモートは PC を閉じてでも定時実行	朝の要約、定例のレビュー	最短はローカル 1 分、リモート 1 時間
Dispatch	スマホから指示すると、Desktop で Code や Cowork が動き、終われば通知	移動中に作業を投げる	Pro・Max のみ。Team・Enterprise は不可
Cowork のクラウド実行	PC を閉じてでも続く。/schedule で定期実行にもできる	長い調査や資料づくりを任せる	手元のファイル・ブラウザ・画面操作には Desktop が要る

ショートカット（Windows は Cmd を Ctrl に）

キー	動作	キー	動作	キー	動作	キー	動作
Cmd+/	一覧を出す	Cmd+Shift+I	モデル	Cmd+Shift+D	差分ペイン	Cmd+;	サイドチャット（/btw）
Cmd+N・W	開く・閉じる	Cmd+Shift+E	エフォート	Cmd+Shift+B	ブラウザペイン	Cmd+Enter	差分コメントを一括送信
Ctrl+Tab	次のセッション	Cmd+Shift+M	権限モード	Cmd+Shift+S	ブラウザで要素を指す	1〜9	開いたメニューの項目
Esc	応答を止める	Ctrl+O	Normal・Thinking・Verbose	Ctrl+`	ターミナル	Option 2 回	Quick entry（Mac）
/rewind	巻き戻し（Esc 2 回は効かない）	/usage	5 時間枠・週枠・コスト	Cmd+\	手前のペインを閉じる	Caps Lock	Quick entry で音声入力

権限モード（入力欄の下で切替）

手動 編集もコマンドも毎回聞く

編集を受け入れる 編集とファイル操作は自動、ターミナルは聞く

プラン 読んで方針だけ出す。大きい修正の前に

自動 裏で安全チェックをかけて進む。聞かれる回数が減る

権限をバイパス 何も聞かない。Pro・Max で設定から有効化。隔離した環境だけで

クラウドでは 編集を受け入れる・プラン・自動 の3つだけ

実機メモ Cmd+N の新しいセッションは 自動 に戻っていた (9/16)

Code タブの技

並列と worktree セッションごとに .claude/worktrees/ で隔離。未コミットの変更を互いに壊さない

動作確認を任せる .claude/launch.json に dev サーバーを書くと、編集のたびにスクショと DOM 確認まで自分でやる

差分レビュー +12 -1 を押して行にコメントし、Cmd+Enter でまとめて返す。Review code はバグだけ見る

PR 差分画面から作る。Auto-fix は CI の失敗を直し、Auto-merge は通れば統合。gh が要る

巻き戻し /rewind がホバーから。コードと会話・会話のみ・コードのみの3択。シェルでの変更は戻らない

セッションの種類 ローカル、クラウド（アプリを閉じてでも続く）、SSH、WSL

Desktop で開けないもの・つまずき

/permissions・/hooks 入力欄では開けない。settings.json を見るか、統合ターミナルで claude を起動して打つ

Agent Teams 非対応。並列はサブエージェントが動的ワークフローで

-p と --output-format スクリプトからの実行は CLI で

ワークスペースの信頼 初めてのフォルダで出る確認を承認しないと、フックと deny が読まれない

サブエージェントの effort バックグラウンドタスクのペインに出るのはモデル名・トークン数・ツール回数だけ

会話側の設定と拡張

Instructions for Claude Settings>General。全会話に効く前提を書く（旧 Global instructions）

Memory 7/10 からカテゴリ別の項目に。8/25 から Cowork のクラウド実行とも共有

Connectors Customize>Connectors の+で追加。既定は Auto、10 個を超えたら On demand

Desktop extensions .mcpb を開くだけでローカルの MCP サーバーが入る

Plugins スキル・コネクタ・サブエージェントの詰め合わせ。会話・Code・Cowork 共通

Claude in Chrome ブラウザを読んで押して進める拡張。有料プラン全部

Computer use Settings>General で ON。Mac と Windows の Pro・Max のみ

活用のベストプラクティス

大きい修正を頼む プランモードで方針を出させ、合意してから実行に切り替える。方向違いの手戻りがいけばん高い

別の作業に移る 新しいセッションか /clear。戻るなら /rename と /resume。古い文脈は毎ターン読み直される

定例作業を Routines に 作ったら Run now で 1 回回し、出た許可を「常に許可」に。手動モードは許可待ちで止まる

時刻が大事な定例 「17 時を過ぎていたら要約だけ」と条件を書く。寝ていた回は起きた時に補うので、朝の予定が夜に走る

同時に何本も セッションを作る時に worktree を選ぶ。同じ作業ツリーを取り合わない

コネクタ 使うものだけ ON。gh など CLI がある道具は CLI で。ツールの定義が文脈を食う

重い判断 Cmd+Shift+E でエフォートを上げる。Opus 5.5 の既定は medium で、浅く終わることがある

Tips・注意

音声入力の既定キーは Caps Lock。Caps Lock を別の常駐アプリに割り当てているなら、Quick entry 側のキーを設定で変える。

統合画面は同じプランでも人によって出る時期が違う。研修では最初に受講者の画面を見て、旧画面か新画面かを確かめる。

Code タブと CLI は ~/.claude/settings.json を共有する。片方で足した許可ルールやフックは、もう片方にも効く。

Sources（公式・一次情報 / クリックで開く）

1. [Claude Code Desktop](#)

2. [Desktop のスケジュールタスク](#)
3. [Cowork と chat の統合](#)

4. [Quick entry](#)
5. [Cowork の概要](#)

6. [コネクタの管理](#)
7. [リリースノート](#)

8. [Desktop extensions](#)
9. [Claude in Chrome](#)

10. [モデルとエフォート](#)